

各 位

上 場 会 社 名 **株式会社サニックス**
代表者役職氏名 取締役社長 宗政伸一
(コード番号 4651 東証一部、福証)
問い合わせ先 取締役常務執行役員
経営企画部長 井上公三
TEL 092 - 436 - 8882

再生可能エネルギー発電設備の接続申込みに対する
電力会社の回答保留による当社の影響並びに対応について

九州電力をはじめ電力各社より再生可能エネルギー発電設備の接続申込みに対して回答を保留する旨公表されましたが、これらの公表事実を踏まえ、当社における産業用太陽光発電システムの販売、施工事業における影響並びに対応について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 当社における影響

当社は、産業用太陽光発電の事業分野に経営資源を集中し、今期から関東を中心とする東日本地区についても直販直施工体制を展開し、主に北関東から西の広い範囲で太陽光発電販売施工事業を行っております。

この度の電力各社の接続申込みに対する回答保留については、九州電力の場合、新規及び既申込みに対する回答を9月25日から、また四国電力の場合、新規申込みに対する回答を10月1日から保留したため、九州電力および四国電力管内においては一部を除き太陽光発電設備の工事ができません。

九州電力等と同様に回答保留を発表している北海道電力、東北電力、沖縄電力に関しては、当社はそれら電力各社の管内を事業エリアとしていないため、影響を受けません。

当社では、1週間程度で設置可能な低圧容量（10kW以上50kW未満）の太陽光発電設備が主であり、お客様からお申込みをいただいてから施工完了までの期間が比較的短いため、10月以降に受注するものの一部を、今期中に工事完了し売上計上できるものと見込んでおりました。しかしながら、両電力管内で新規申込みに対する回答の再開が見通せない中、下半期に受注できるとしていた新規案件については今期中に売上計上が見込めないと判断いたしました。

一方で、九州電力は、10月21日付けで、平成26年9月24日までに申込まれた低圧（敷地分割を除く）の回答を再開する旨を公表しました。これにより、9月24日までに九州電力に接続契約の申込みを済ませている案件について、今期中にその一部が売上計上できる見込みとなりました。

2. 当社の対応について

このような状況のもと、次の対応を取っております。

- 1) 9月24日の九州電力の回答保留の公表以降、九州地区及び四国地区営業員を他地区へ振り向け、その地区での営業活動を強化しております。このような中公表された九州電力による既申込み分の一部回答保留解除を踏まえ、営業員を他地区へ振り向ける規模を縮小し、既申込み分のフォロー、回答保留対象ではない住宅用（10kW以下）太陽光発電の営業強化を進めております。
- 2) 九州地区、四国地区以外については、産業用太陽光発電施設の中でも、系統連系がしやすく接続契約の申込みから施工完了までに要する期間が短い屋根設置等の低圧小型案件に集中した営業を展開しております。
- 3) 九州地区に在籍する技術職は、工事状況を踏まえ、他地区への応援移動について機動的に行ってまいります。

3. 今後の見通し

今回の各電力会社の措置による影響額、並びに当社対応による見込み額等を織り込んだ平成 27 年 3 月期の業績予想につきましては、本日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上